

# 管理職インタビュー



インタビューの全文は、  
高知県職員等採用試験  
情報サイトに掲載中!



## 県庁生活を振り返って

ひとことで言うと「感謝」しかありません。県庁職員も金がないなら知恵を出せという時代、「木造住宅推進プロジェクトチーム」に所属していた頃、県産材の利用促進イベント「高知もくもくランド」を企画・運営しました。出展者への営業活動など準備には1年以上要しましたが、本番当日は大盛況。みんなで喜び合ったことや机上では味わえない達成感が私の原点であり、これまで仕事を続けてこられた原動力のように思います。

職員一人ひとりの思いやアイデアが大きな政策につながっていきます。高知県庁は若手職員が力を発揮できる環境があります。



産業振興推進部  
地域産業振興監(仁淀川地域担当) 信吉 真奈美

## ともに働くうえで求める人材像

"同志"の存在は仕事の出来に大きく関わってきます。まずは、自分はどうしたいという思いをしっかりとって、実現に向けて努力する人を応援したいと思います。県庁は3～4年サイクルでの人事異動が宿命です。苦手だなと思う仕事を担当しないといけないこともありますが、必ずといっていいほど後の仕事につながってくるものです。やって無駄な仕事はひとつもありません。“なんとかなる”という楽天的な思考と困ったときに周りの人にSOSを出せることも重要な能力だと思います。



県庁の仕事は、どの分野であれ、どの立場であれ、一人の力だけで達成することはできません。チームワーク（協調・連携する気持ち）とチャレンジ精神が何よりも重要だと思います。



観光政策課 課長 鈴木 康正

## 県庁生活を振り返って

私の県庁生活は、県民の皆様身近な福祉の業務から東京での観光PR、また、国の省庁での研修や副村長として出向するなど、様々な分野や立場の仕事を経験させていただきました。逃げ出したくなるような困難なこともありましたが、どんな時も「高知県のため」というやりがいを持って仕事をすることができました。

## 受験を検討されている方へのメッセージ

高知県は人口の減少が進み、これまで生活してきた町や村が、将来成り立たなくなっていくぐらい厳しい状況に直面しています。みなさんの世代、そしてみなさんの子どもたちの世代、未来に向けて高知県が元気であって欲しいという願いは、誰もが同じだと思います。県庁は、そのための政策をつくり、実行する職場です。ぜひ、一緒にその思いを形にしましょう。

